

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【公開番号】特開2004-161009(P2004-161009A)

【公開日】平成16年6月10日(2004.6.10)

【年通号数】公開・登録公報2004-022

【出願番号】特願2004-7952(P2004-7952)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/32 (2006.01)

B 3 2 B 5/18 (2006.01)

C 0 8 J 9/10 (2006.01)

C 0 8 L 23/08 (2006.01)

C 0 8 L 23/16 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/32 Z

B 3 2 B 5/18

C 0 8 J 9/10 C E S

C 0 8 L 23/08

C 0 8 L 23/16

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月1日(2006.2.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリオレフィン系樹脂100重量部に対してJIS A 硬度計にて60以下のポリオレフィン系ゴム50～300重量部を添加した基材樹脂を使用し発泡性シートを作成し、得られた発泡性シートを加熱し、発泡倍率を3～15倍にしたポリオレフィン系樹脂発泡体シートに、基布層及び表皮層の少なくともいずれか1層を積層させたことを特徴とするポリオレフィン系樹脂発泡体シート。

【請求項2】

ポリオレフィン系樹脂として、エチレン-酢酸ビニル共重合体樹脂、エチレン-(メタ)アクリル酸エステル共重合体樹脂、エチレン-ヒアルファオレフィン共重合体樹脂の少なくとも1種類を使用することを特徴とする請求項1記載のポリオレフィン系樹脂発泡体シート。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記課題を解決するためになされた本発明のポリオレフィン系樹脂発泡体シートは、ポリオレフィン系樹脂100重量部に対してJIS A 硬度計にて60以下のポリオレフィン系ゴム50～300重量部を添加した基材樹脂を使用し発泡性シートを作成し、得られた発泡性シートを加熱し、発泡倍率を3～15倍にしたポリオレフィン系樹脂発泡体シ

ートに、基布層及び表皮層の少なくともいずれか1層を積層させたことを特徴とするものである。積層させる時期としては、発泡シートとした後でも、発泡前の発泡性シートの状態で貼り合わせてその後に発泡させてもよい。